

根来山げんきの森倶楽部

令和8年1月作業日誌

活動日…令和8年1月18日(日)9時30分〜

天気…晴れ

参加者…倶楽部員48人

炭焼き 田屋 和之

春の様な麗らかな天候の下、午前は11人で炭を窯から出し萩原コーヒーさん用に、10〜15cm位にカットして袋に詰める作業をしました。だいたいいつも25袋位出来るのですが、今日は20袋の出来上がりで少し少なめでした。色々原因を話し合ったのですが、前回から炭材の納入口を、新しく作って貰った遮蔽ブロックで塞いでいますが、そのブロックからの放熱が少なくなった為、窯の温度が何時もより高くなったのが原因ではないかとの話に落ち着いたようです。知らんけど。

午後からは10人で高野山用の炭材を、窯に納入しました。高野山用の炭材は太いものを多く使いました。

作業は2時半くらいに終了しました。新しく作って貰った遮蔽ブロックのおかげで作業時間が30分以上短縮されたと思います。



里山整備 岡田 和久

今年最初の里山整備は、森広場から炭焼き広場を下りていく車道の上に立っているヒノキを倒しました。

このエリアのヒノキは大きく枝を張って成長の激しい個体で、ヤマザクラやクリ、タマミズキなどを圧迫し始めていました。なかなか太く育っており、株元の直径はいずれも50cm近くあります。私は小さなチェーンソーで周りの支障木やウラジロを刈り払い、本体は伐採業のプロH氏にお願いしました。さすがH氏、いずれもくせ者のヒノキ巨木をすべてクサビだけを使って見事に狙い通り倒してくれました。

ヒノキが倒れた後の森は明るい日差しが入り、周辺の広葉樹たちはすっきりした表情で青空に枝を伸ばしているように見えました。

切り倒したヒノキは林内作業車で管理車道に引きずりおろし、現在進行中の道普請に使います。

倒してみると、どこにヒノキがあったのか気づかないほどですが、いくつかの大きな切り株が目印。森広場の手前あたりから見下ろすとよく目立つ切り株を見つけられるのでぜひ探してみてください。

味噌汁 萬賀 伊津子

物価高が天井知らずで、具材の調達に悩みます。

今までは結構具材豊富なお味噌汁でしたが、これからは、ちょっと'地味味噌汁'でいこうとお財布を締めました。が当日、いろんな方がたくさんの具材を持ってきてくださり、いつもの、いやいつも以上のお汁より具の方が多い美味しいお味噌汁になりました。

お野菜をたくさん持ってきてくださった皆さん、ありがとうございました。

おかげで今月も美味しくいただくことができました。

メンバーはほぼいつもの4名でした。あ、一人男性も、ネギを切るのは得意だ、と言って切ってくださいました。5名でした。男性の参加もお待ちしています。



春を思わせるような陽気の中9名での作業日でした。

こぶし川の護岸は毎回イノシシに崩されており、大きな土止めの木や石を川から揚げたの川ざらえの後、杭を打ち増して復旧しました。

イノシシよけにはYさん持参のスイセンとヒガン花を山の土を削って花壇を作り、上に細い竹で荒目の格子を作ってこれを被せイノシシが嫌がる工夫をしました。

護岸にも竹の乱杭を打ってイノシシの目くらましをしています。

休憩時にはYさんの卒寿をSさんがサプライズでカメラ同道で現れケーキをプレゼントし、大きな拍手でお祝いました。Yさんは数年前に作業中に背骨を圧迫骨折されましたがリハビリの甲斐あってフェニックスのように回復されました。本当におめでとうございます。

幼稚園の子供たちが安全に遊びまわれるように、散在している枯れ枝や腐った木などの集積場を作りました。孟宗竹の杭にスハウチクを剪定して出た細い竹を組んで竹垣を作って周りを片付けて、きれいな広場ができました。

Nさんはうるし谷入口の道整備やミツマタの移植とハッカをイノシシよけに植え付けました。

Tさんが倒した木を玉切りにしたものをYさんが塗装して子供たち用の椅子をいくつも作りました。

うるし谷を入ってのぼり道の左側に大きなエノキがあり、二つの枝が一つに結合する「連理の木」と言われ幸せを呼ぶ縁起物です。Tさん持ち前のチェーンソーワークで銘板とベースが完成し、パワースポットになりそうだと言って今日の作業を終えました。



11月、製材用チェーンソーの修理とロゴソール(製材装置の商品名)の修理に終わってしまいましたが、いよいよ板作りの始まりです。男性6人?で取り掛かりました。

今回は、管理棟のある広場の北側に、Aさんが作っているデッキ用の床板づくりです。11月に用意していたヒノキの太い丸太(これが重過ぎて紐が切れた)から切り始め、結局3本の丸太から17枚の5cm厚の板を引き終了しました。

途中、ソーチェーンの目立てもしたおかげで、快適な作業でした。後日、デッキ作りに丁度いい数だったようで、次は手摺用の材づくりです。



事務局から

「小鳥が少ない冬」

今年のげんきの森には野鳥が少ない気がしてたら、いずこも同じようで紀北地域で野鳥を観察しているみなさんも今年は冬鳥が少ないとおっしゃっていました。

もちろん、理由はわかりませんが、今年のげんきの森には野鳥たちのエサになる木の実がたくさんあります。げんきの森もそうなので周辺に森にももちろんたくさん実っているはず。野鳥たちはあちこちに豊富にあるエサをついばむのに忙しくエサの多いげんきの森に集合しなくてもいいのかもしれませんが。

おかげで、イイギリやタマミズキ、ナナミノキ、クロガネモチなど見ごたえのある赤い実はまだ私たちを楽しませてくれています。

小鳥たちが少ない寂しい里山ですが、その代わりに楽しみを自然はちゃんと用意してくれているのでしょう。せっかくの機会なので、今年は上に記した4種類の樹木の実をぜひおぼえておいてください。(岡田 和久)